

第1章 ふくいの歴史・自然・人口編

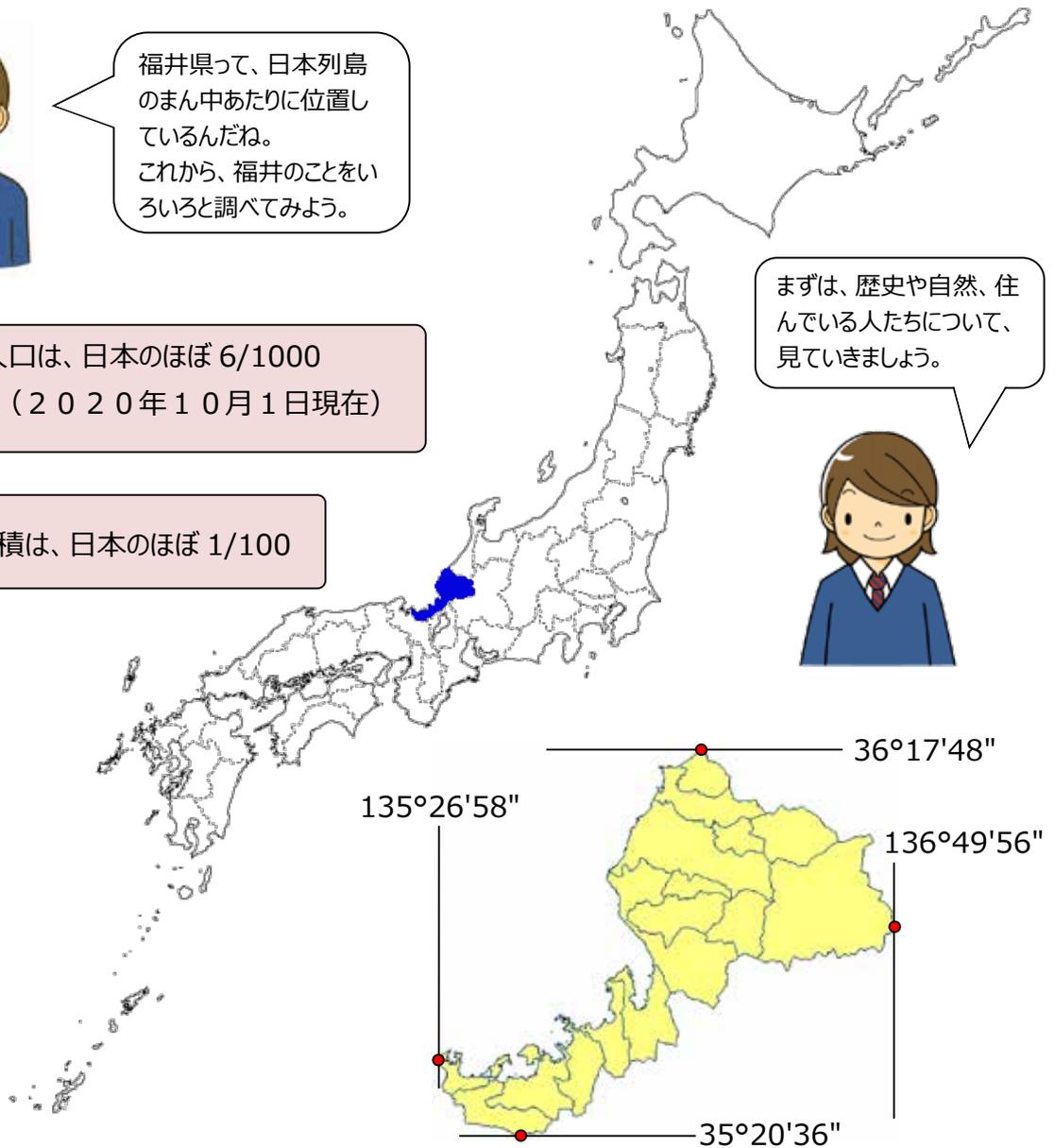


福井県って、日本列島のまん中あたりに位置しているんだね。これから、福井のことをいろいろと調べてみよう。

福井県の総人口は、日本のほぼ 6/1000
762,679 人（2020年10月1日現在）

福井県の面積は、日本のほぼ 1/100

まずは、歴史や自然、住んでいる人たちについて、見ていきましょう。



福井県の東西南北端点の経度・緯度

	東端	西端	南端	北端
経度	136°49'56"	135°26'58"	135°42'03"	136°14'33"
緯度	35°51'33"	35°31'33"	35°20'36"	36°17'48"

※この四端の場所は P 7 を見てみよう。

出典：福井県の推計人口(福井県統計情報課)
 全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)
 都道府県市区町村の東西南北端点の経度緯度(国土地理院)

1 今の「福井県」が誕生するまで

◎昔から「福井県」?・・・「福井県」は、140歳になりました。

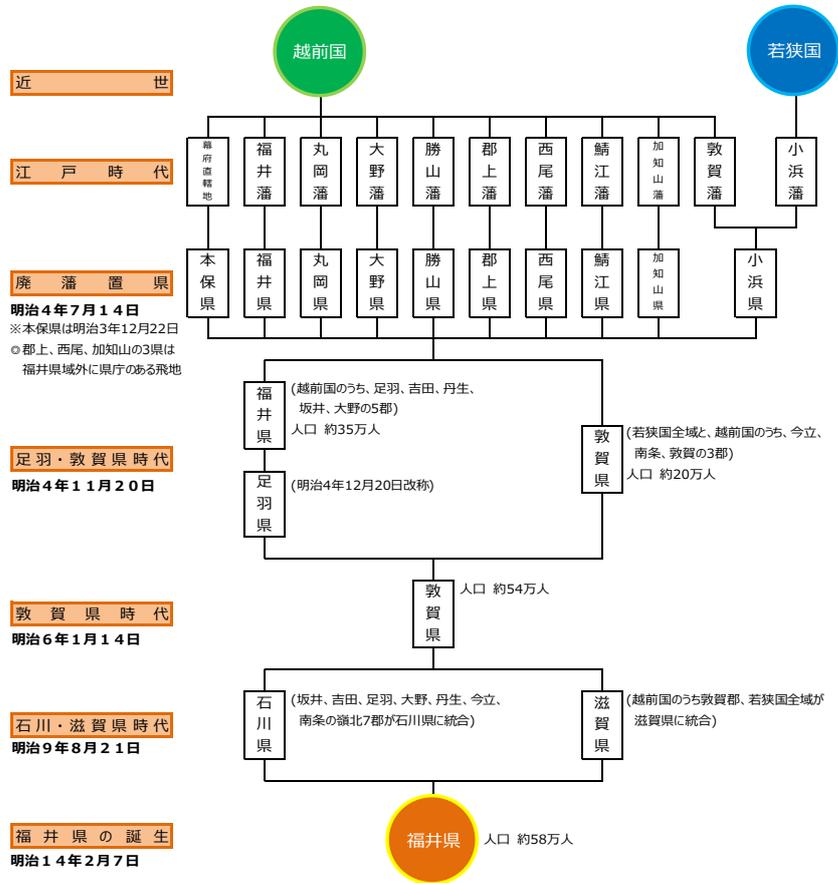
(令和3年1月時点)

現在の福井県は、昔の越前国と若狭国からなります。

江戸時代には藩政が敷かれ、幕府直轄地と各藩の領地に分かれていましたが、江戸幕府が滅び、明治4(1871)年に廃藩置県が行われました。

その後、福井県(のち足羽県)と敦賀県が誕生し、明治6年には、足羽県と敦賀県が統合され、敦賀県が誕生しましたが、明治9年に石川県と滋賀県に統合され、敦賀県は消滅しました。

明治14年に、石川県・滋賀県より、坂井・吉田・足羽・大野・丹生・今立・南条・敦賀・三方・遠敷・大飯郡が統合し、現在の福井県が誕生しました。



参考: 「福井県史」

◎今の福井県は17市町・・・昔は1,990の町村があった!

年・月	福井県の市町村数				出来事
	市	町	村	計	
明治21年	0	248	1,742	1,990	「明治の大合併」※1
明治22年末	1	9	168	178	
昭和22年5月	2	17	151	170	地方自治法施行
昭和28年10月	4	18	128	150	「昭和の大合併」※2
昭和36年6月	7	21	13	41	
昭和46年9月	7	22	6	35	「平成の大合併」※3
平成18年3月末	9	8	0	17	

資料: 福井県市町協働課

※1 «明治の大合併»

明治22年の市制町村制施行に伴う町村合併。教育、徴税、土木、戸籍等の行政を行うのに適した人口規模にするため、約300~500戸を標準規模として、全国的に実施された。

※2 «昭和の大合併»

昭和28年の町村合併促進法施行および昭和31年の新市町村建設促進法による市町村合併。戦後、市町村の事務とされた新制中学校の設置管理を行うのに適した人口規模にするため、概ね8,000人を標準とし、町村数を約3分の1に減少することを目的として全国的に実施された。

※3 «平成の大合併»

住民の日常生活圏の広域化や地方分権の進展に必要な行財政基盤の強化を図るため、平成11年から全国的に実施された市町村合併。

◎キミは、いくつ知ってる？・・・これまでの福井県の出来事

	西	暦和	年号	出来事
古墳時代		507	継体1	越前坂井で育った継体天皇が即位(『日本書紀』)
奈良時代		749	天平勝宝1	東大寺荘園として足羽郡道守庄など越前国各地を占定
平安時代		806	大同1	坂上田村麿呂、明通寺創建
		996	長徳2	紫式部、越前守に任ぜられた父 藤原為時の越前国赴任に同行
鎌倉時代		1243	寛元1	道元、越前志比庄に来る。翌年、大仏寺(後の永平寺)を創建
室町時代		1471	文明3	朝倉孝景、越前守護に着任。本願寺蓮如、吉崎御坊を建立
安土桃山時代		1574	天正2	越前一向一揆が蜂起
		1601	慶長6	結城秀康、福井城を築城
江戸時代		1653	承応2	杉森信盛(のちの近松門左衛門)、鯖江の武士の家に次男として生まれる
		1689	元禄2	松尾芭蕉、おくのほそ道で福井を訪れる
		1774	安永3	小浜藩医 杉田玄白ら『解体新書』を出版
		1848	嘉永1	橋本左内、「啓発録」を著す
		1862	文久2	松平慶永(春嶽)、政事総裁職となり幕政改革を推進
明治時代		1899	明治32	敦賀港を外国貿易港として指定
大正時代		1920	大正9	第1回国勢調査実施。福井県の人口59万8,029人(※注)
昭和時代		1932	昭和7	福井市に世界初の人絹取引所を開設
		1945	昭和20	福井、敦賀に空襲
		1948	昭和23	福井地震(マグニチュード7.1、全壊家屋33,000余戸、死者3,800余人)
		1962	昭和37	北陸トンネル開通(敦賀・今庄間、全長13.87km)、北陸線敦賀・福井間が電化
		1968	昭和43	福井国体開催
		1969	昭和44	日本原電敦賀発電所で臨界式
		1980~81	昭和55~56	56豪雪(全壊家屋384棟、死者15人)
平成		1997	平成9	ロシアタンカー「ナホトカ号」重油流出事故
		2000	平成12	福井県立恐竜博物館が開館
		2004	平成16	福井豪雨災害発生
		2014	平成26	舞鶴若狭自動車道が全線開通
		2015	平成27	第20回国勢調査実施。福井県の人口78万6,740人(国勢調査で80万人を下回る)
		2018	平成30	平成30年豪雪
		2018	平成30	福井しあわせ元気国体・障スポ2018 開催【天皇杯・皇后杯の獲得】
令和		2020	令和2	令和3年1月大雪

(※注)昭和33年に岐阜県に編入した旧石徹白村の分は含まれていません。

◎キミの住む地域はどこ？

福井県行政区画図

9市8町 (令和2年3月31日現在)

【西端】
大飯郡高浜町鎌倉西北500m



【南端】

大飯郡おおい町名田庄染ヶ谷東南2,000m



越前国

若狭国

嶺南

嶺北



【北端】

あわら市北瀧砂丘北端(見当山北750m)

【東端】

大野市油坂峠東南1,550m



※越前国には、現在の岐阜県郡上市白鳥町石徹白地区も含まれていた。

雨天も多いが、恵みも多い 福井の豊かな降水量

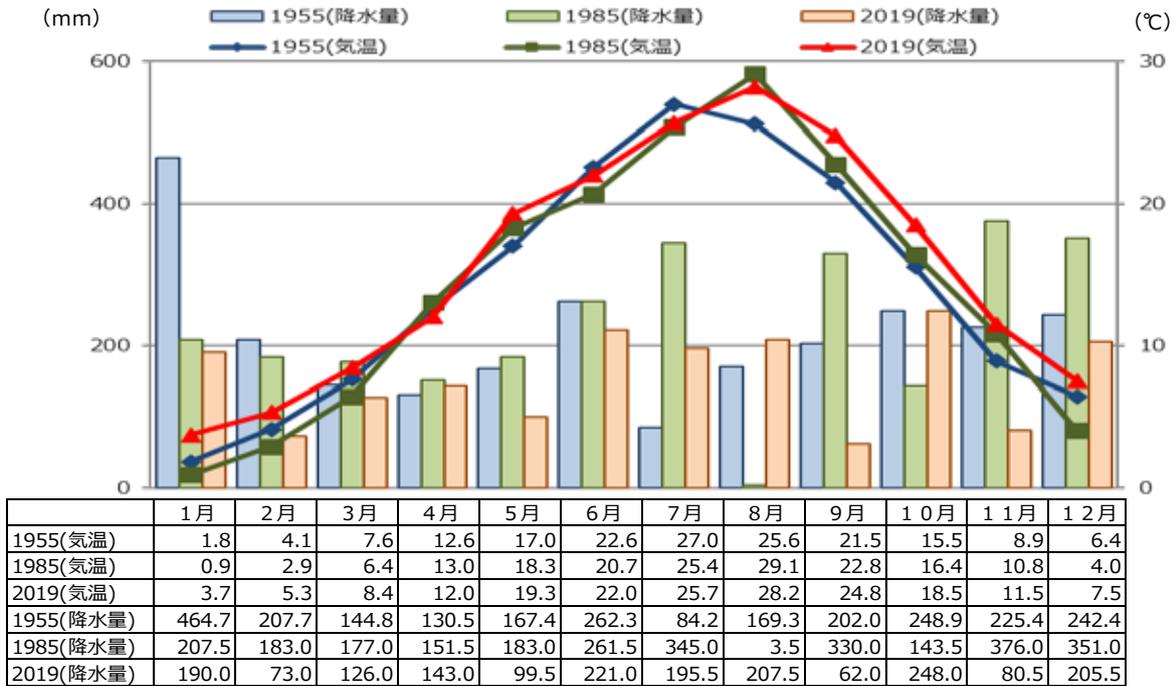


福井の平均気温は上昇しているね。平均気温や降水量など、他県と比べてみてもおもしろいかもね。

1985年には地球温暖化に関する世界的な会議が初めて開かれたのよ。下のグラフはその年を境に、前後約30年を調べたものね。



1955年、1985年、2019年の月ごとの平均気温と降水量(福井市)

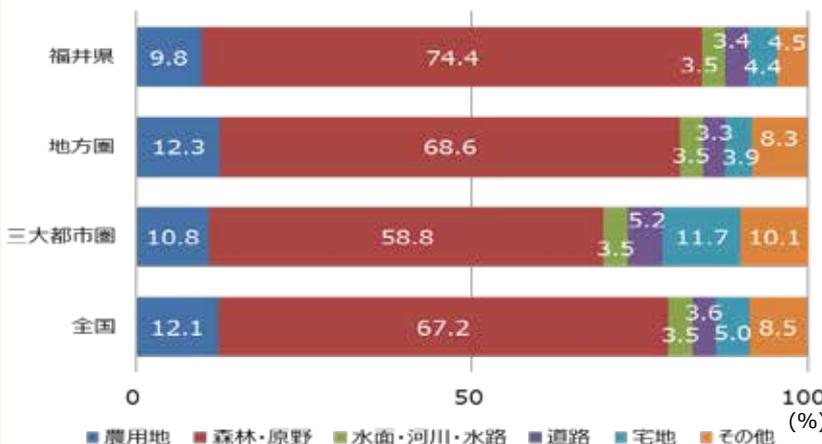


※福井県は、県内全域が温暖湿潤気候であるが、冬季には日本海寒帯気団収束帯の影響を受けやすいことから、豪雪地帯に指定されている。 出典：気象庁

福井県の土地利用

土地利用構成の比較 (平成23年)

平成4年と平成29年との比較(福井)



	1992年	2017年
総面積	4188.3	4190.5
農用地	461.3	403.6
森林・原野	3141.0	3122.1
水面・河川・水路	146.6	145.4
道路	119.7	144.6
宅地	155.6	188.0
その他	164.3	186.9

※四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある

※三大都市圏：埼玉、千葉、東京、神奈川、岐阜、愛知、三重、京都、大阪、兵庫、奈良の1都2府8県

※地方圏：三大都市圏を除く地域

出典：土地利用現況把握調査(福井県土木管理課)



平成4年と平成29年の土地利用を比較すると、総面積はほとんど変わらないけど、農用地が減って、道路や宅地が増えているね。

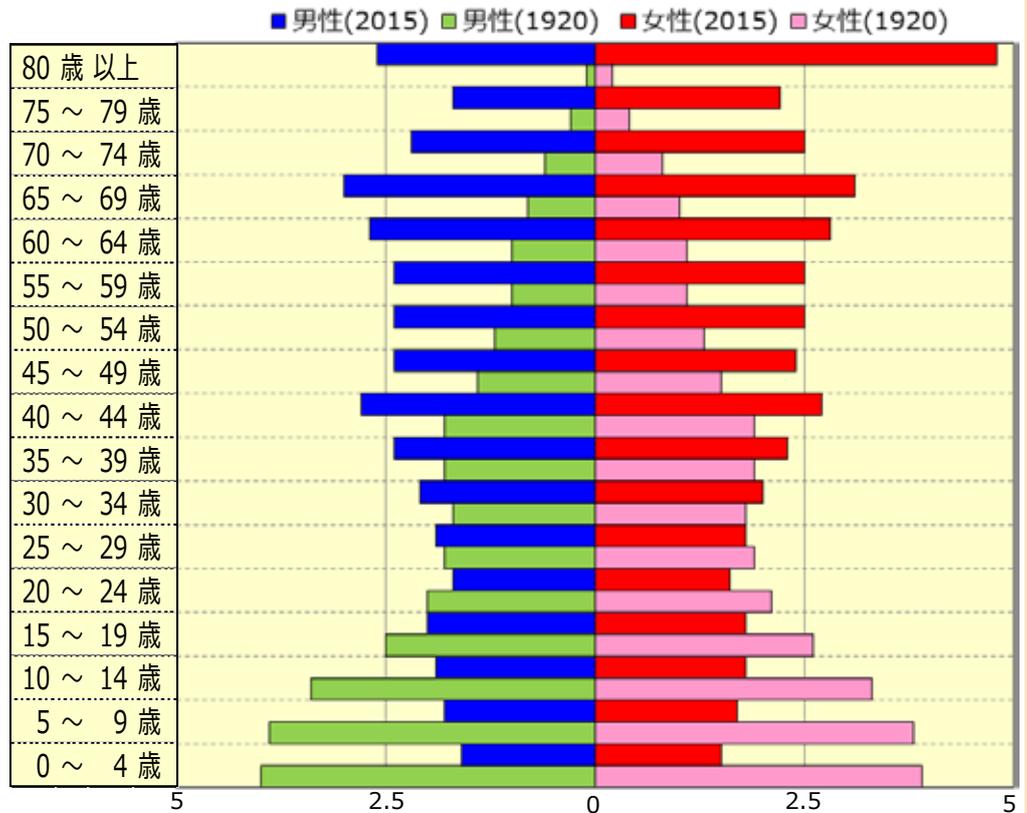
少子高齢社会をむかえる福井県



右のグラフは1920年と2015年の人口ピラミッド。形が全然違うね。少子高齢社会とどう向き合い、対策をしていくかを、ぼくたちは真剣に考えていかなければならないね。



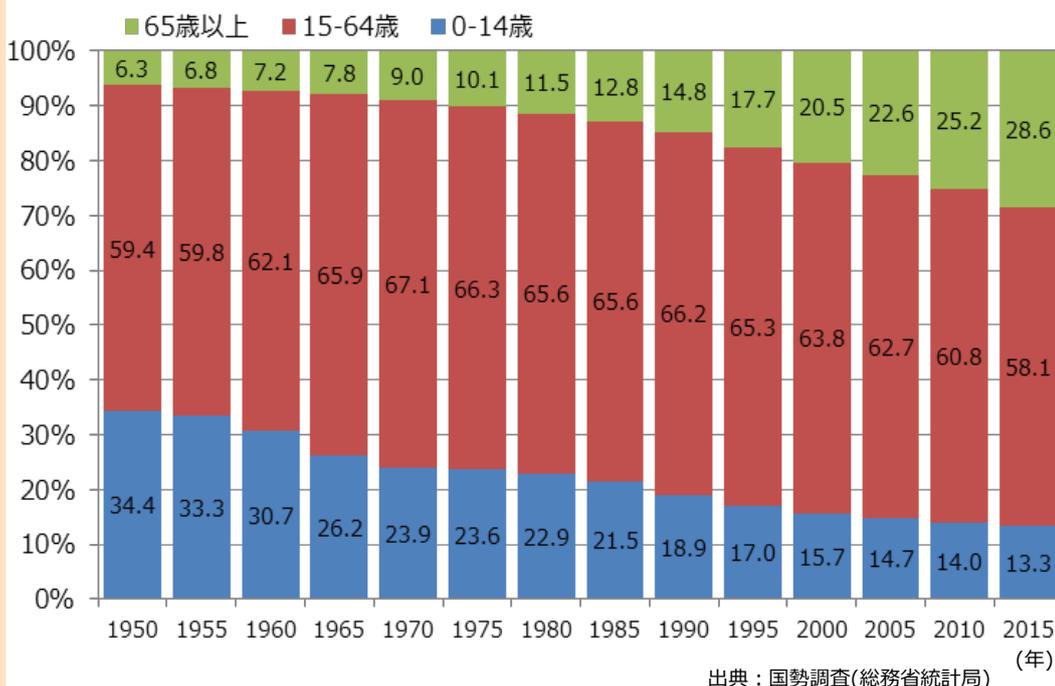
私たち子ども世代の人数は本当に少なくなっているんだね。なんでだろう？



※1 出典：国勢調査(総務省統計局) (万人)

※1 国勢調査とは、日本に住んでいるすべての人および世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、国や地方公共団体の政治・行政において利用されることはもとより、民間企業や研究機関でも広く利用され、国民生活に役立てられています。

福井県の年齢3区分別人口割合の推移



出典：国勢調査(総務省統計局)

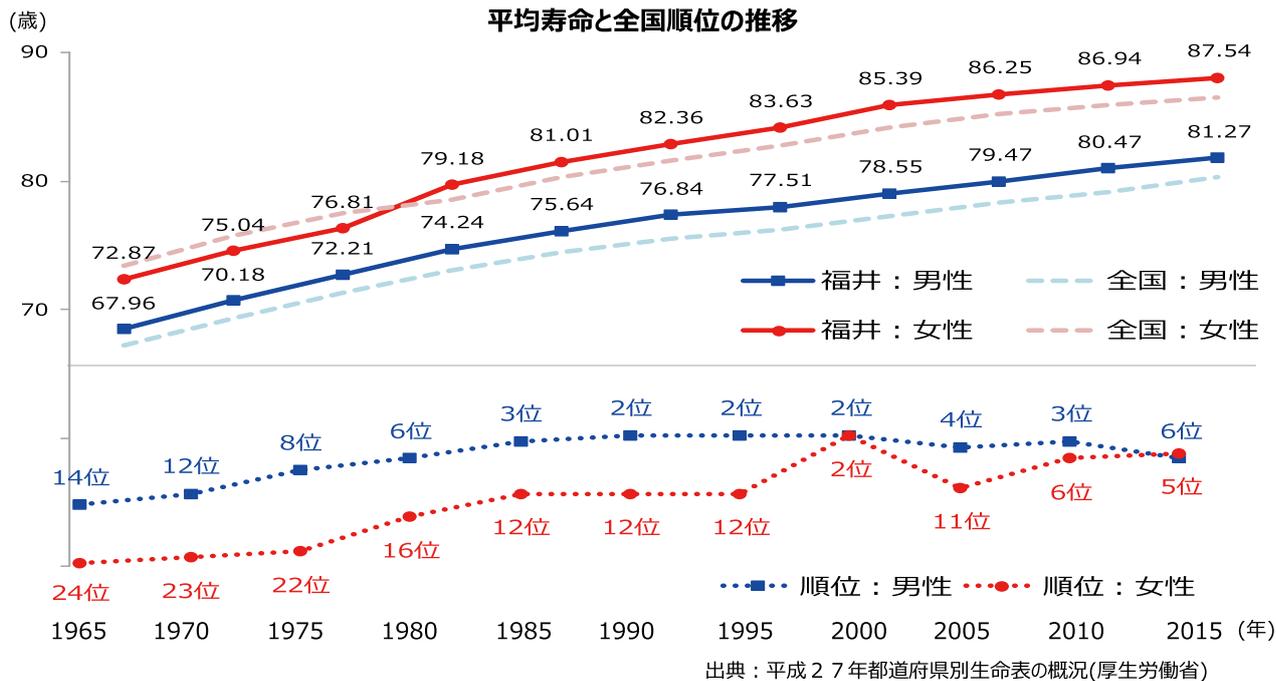


65歳以上の方の割合が増えているのに対して、他の2つの年齢区分の割合は減り続けているんだね。

高齢者の割合が増加しているのは、福井県の高齢者の方が長生きであることにもよるね。次のページを見てみよう。



福井県民は、長生き！～平均寿命トップクラス～

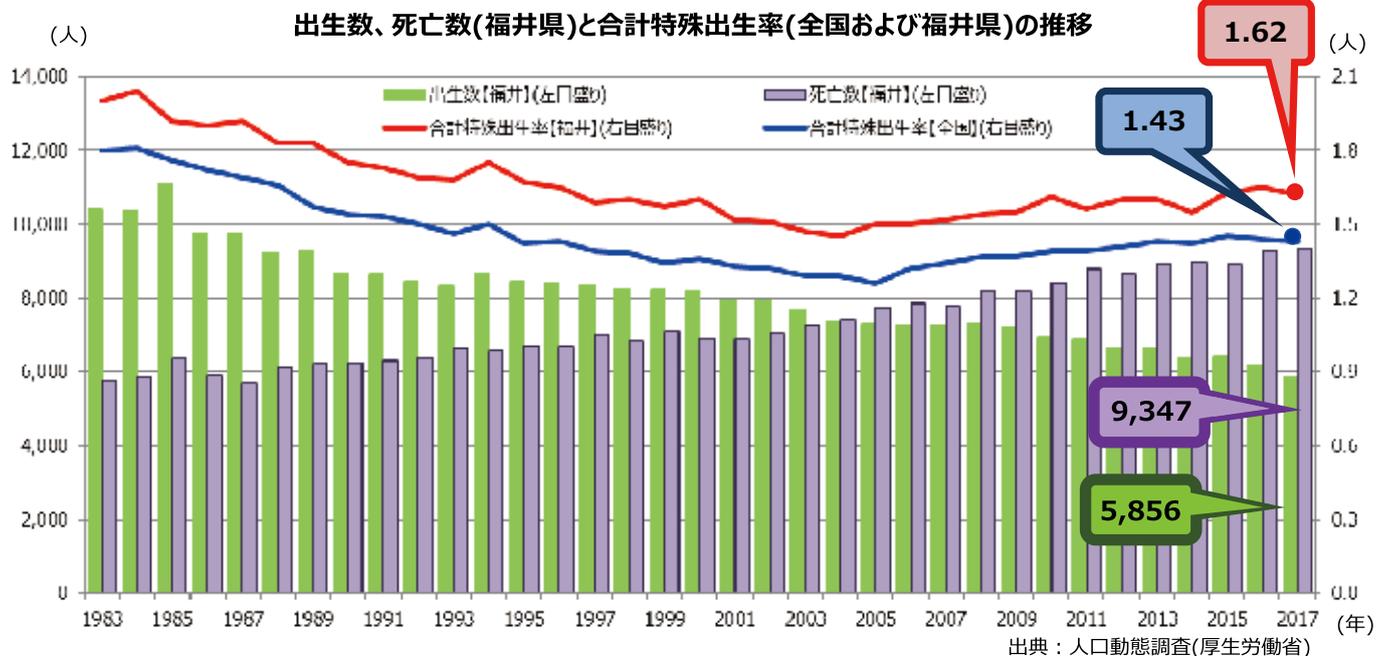


福井県の平均寿命は、男女ともに、全国平均よりも高い水準にあり、順位もトップクラスを維持しているね。

全国においても平均寿命が延びているね。平均寿命が高いのはいいことだけど、前のページで見たように、若い年齢層の人口が減っているのが問題なんだ。



一生に何人くらいの子どもを産む！？



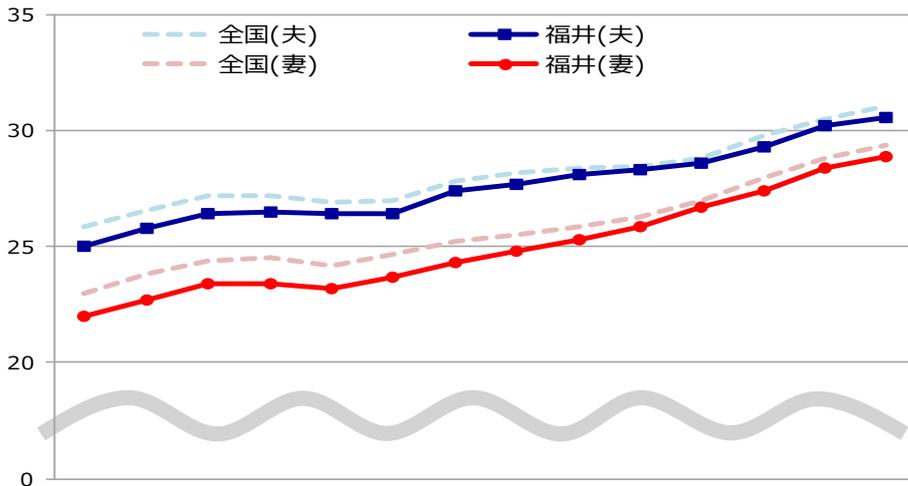
合計特殊出生率っていうのは、女性が一生の間で産む子どもの数を平均した値のことなんだよ。福井県は高い水準にあるね。

出生数は年々減少していて、死亡数は年々増加している。2004年あたりから出生数と死亡数が逆転し始めているんだね。人口減少の原因のひとつだね。出生数減少は、結婚年齢も関係してそうだね。

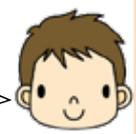


みんなは何歳くらいで結婚したい？すすむ晩婚化

(歳) 平均初婚年齢(全国および福井県)の推移



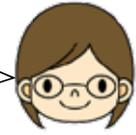
福井県は男女ともに、全国平均より若い年齢で結婚しているね。



お父さんが結婚したのは22年前の1998年。年齢は28歳だったから、ほぼ福井県の平均と同じだったんだね。



1950年と今では、男女ともに約6歳の差があるのね。



西暦(年)	1950	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015
全国(夫)(歳)	25.9	26.6	27.2	27.2	26.9	27.0	27.8	28.2	28.4	28.5	28.8	29.8	30.5	31.1
福井(夫)(歳)	25.0	25.8	26.4	26.5	26.4	26.4	27.4	27.7	28.1	28.3	28.6	29.3	30.2	30.6
全国(妻)(歳)	23.0	23.8	24.4	24.5	24.2	24.7	25.2	25.5	25.9	26.3	27.0	28.0	28.8	29.4
福井(妻)(歳)	22.0	22.7	23.4	23.4	23.2	23.7	24.3	24.8	25.3	25.9	26.7	27.4	28.4	28.9

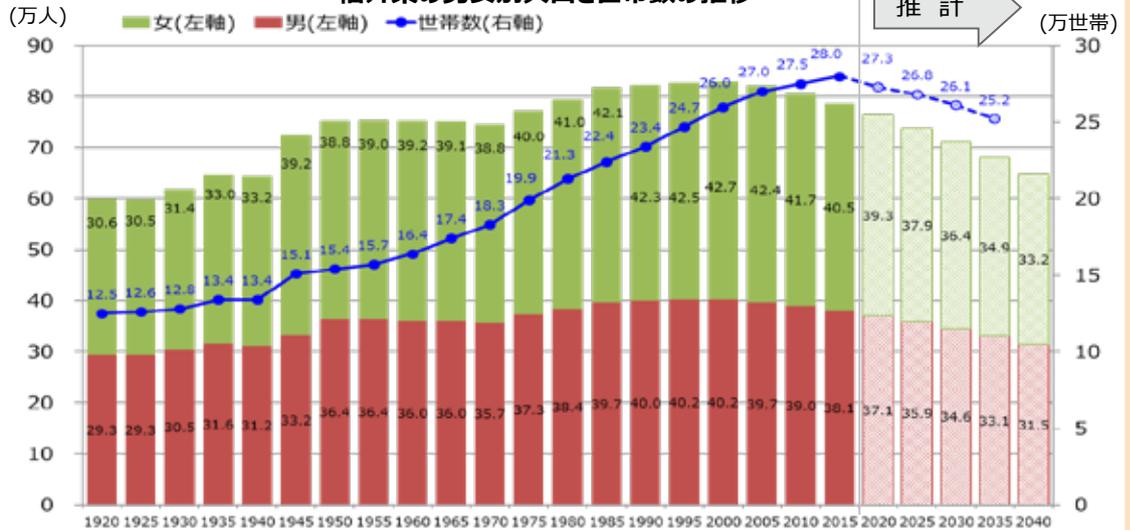
出典：人口動態調査(厚生労働省)

初婚年齢が高くなっているから、出生数も減るのかな。このままだと福井県の人口が減り続けちゃうよ。これまでの人口の変化はどうかかな？



減少していく福井県の人口

福井県の男女別人口と世帯数の推移



出典：国勢調査(総務省統計局)、国立社会保障・人口問題研究所(2020年からの推計) (年)
※2040年の世帯数の推計値は未公表

世帯数は増えているけど、人口は2000年をピークに減ってきているね。人口が減少しているのは、出生数が減少していることも大きな要因だけど、それだけじゃないんだ。次のページを見てみよう。



福井県の人口は、奈良時代初期からみると、2000年には約10倍になっているんだね。でも、今まで見てきたように人口は減少しているから、グラフもすごい勢いで下がっているね。どうしたらいいかな。



福井県の超長期人口推移



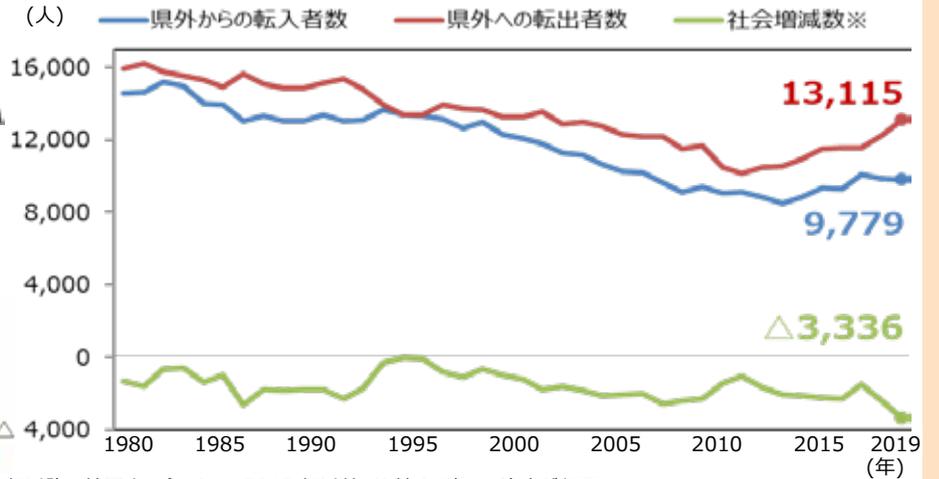
出典：「上智経済論集内 明治以前日本の地域人口」鬼頭宏著、「奈良朝時代民政経済の数的研究」澤田吾一著、「国勢調査以前日本人口統計集成」(内務省)、「日本人口史之研究」高橋梵仙著、国勢調査(総務省統計局)、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計を基に県が独自推計

福井県への転入・福井県外への転出

右のグラフをみてみよう。社会増減数はほとんどがマイナス値だね。これも人口減少の原因だよ。



福井県の県外からの転入者・県外への転出者と社会増減数の推移



県外からの転入者は、ここ最近、増加してきているわ。何か要因があるのかな。

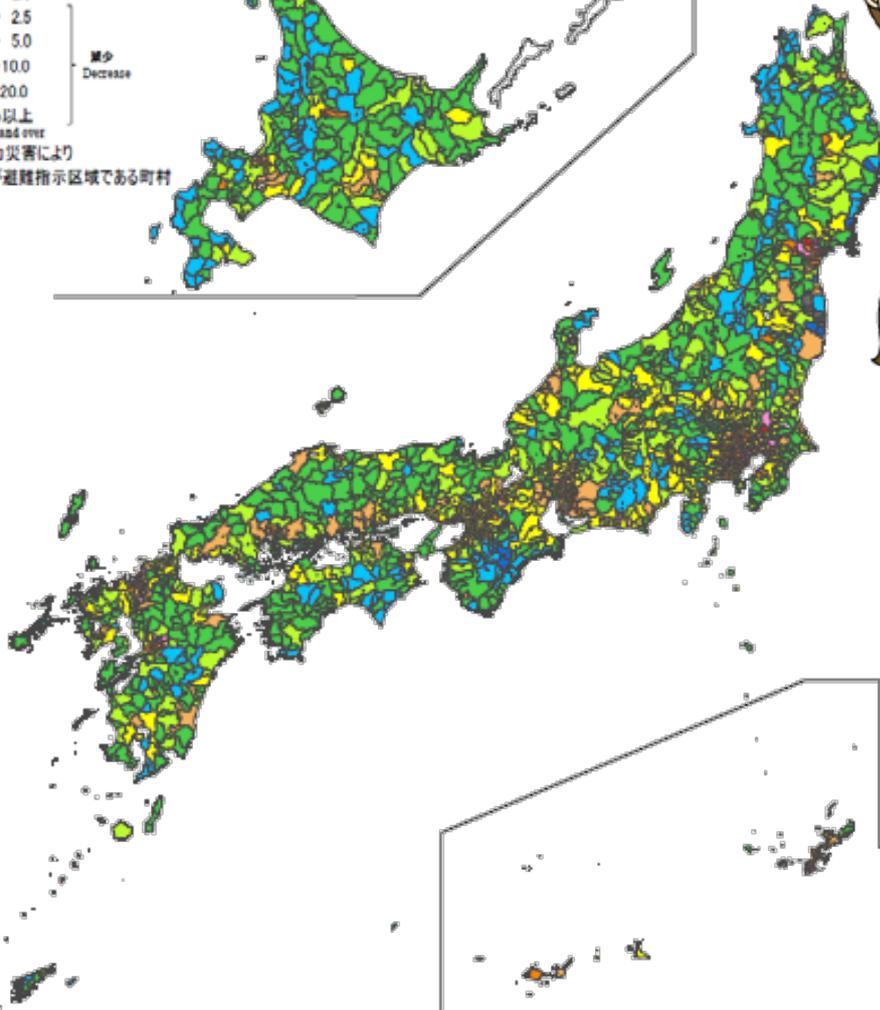
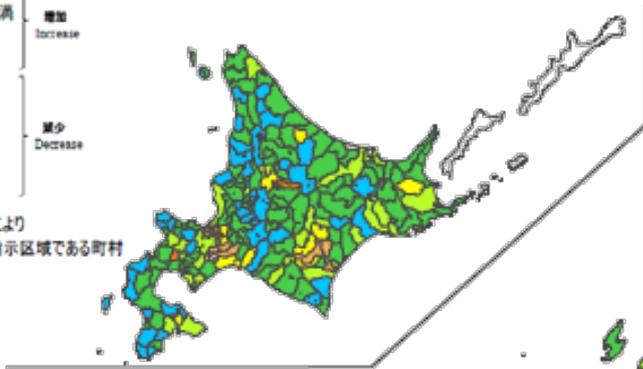
UターンやIターンが関係しているのかな。福井県ではどのような支援が行われているのだろう。



※ 2014年以降は外国人を含むため、2013年以前と比較する際には注意が必要。

※ 社会増減数=県外からの転入者数-県外への転出者数 出典：住民基本台帳人口移動報告(総務省統計局)

色でみる人口の変化



左の地図を見ると、地方は黄色や青、都市部は赤くなっているね。

各都道府県の市町村別に色分けしてあって、パッとみてわかりやすいね。



福井県を見てみると、青い箇所は少ないけど、緑や黄が目立つね。

福井県の人口減少を食い止めるには、どのような取り組みが必要かな。



出典：日本統計地図、平成27年国勢調査(総務省統計局)